

1.【消防OBによる仕入先点検】

従来課題

総務、調達部門で確認⇒専門知識に乏しく形式的な防火活動にとどまる
ex.訪問確認の際、目に付いた問題のみ指摘（法規との関係まで踏み込めない）
仕入先様の困りごとに専門知識ない為、適切なアドバイス出来ず

消防OBによる防火活動を開始

実施事項と改善点

- 消防OBの知見を活かした点検シート作成
「消防法注意点」 「危険物規定数量」 「消火設備設置基準」
- 点検シートを用いて、仕入先様で自己点検実施
- 消防OB参加での仕入先様訪問点検
 - ・現場確認
 - ・仕入先様の困りごとアドバイス（地域での基準差、危険物の保管方法等）
- 点検時の指摘事項に対しての改善計画を仕入先様が作成、調達でフォロー

2.【自社対策を仕入先様に紹介①】

◇集塵機ダクト対策

- ・各工場定期点検、清掃実施により、集塵機ダクトに起因する火災ゼロ更新中
- ・一部ダクトに**安全対策を必要とする設備有り**

【対策内容】

- ・点検時**高所作業を要する設備**について、作業環境改善（点検し易く）実施

〇〇工場(第1工場) : 2ヶ所

〇〇工場(第3工場) : 3ヶ所



〇〇年度 : 重点活動として実施すべく、工場事務局と連携し、計画的な対策実施

3.【自社対策を仕入先様に紹介②】

◇火災源の見える化（マップ化）

	項目	考え方	取組内容
①	電気配線、工場内配線対策	・火災リスクのある箇所を洗い出し、 維持管理の徹底 (配線被覆経年劣化、埃堆積箇所 等)	・見える化(マップ化) (火災源と可燃物を マップに表示) * 優先順位を付けて潰しこむ
②	火災源と可燃物の分離	・2Sによる日常管理の徹底 (火災源近くの埃、切粉、油漏れ箇所)	

